

株式会社タケエイ(東1: 2151)

2020年3月期

第1四半期決算 補足説明資料



建設が進む(株)横須賀バイオマスエナジー 燃料棟(左) ボイラー棟(右)[いずれも2019年5月撮影]

当第1四半期決算の概況(連結)

単位: 百万円

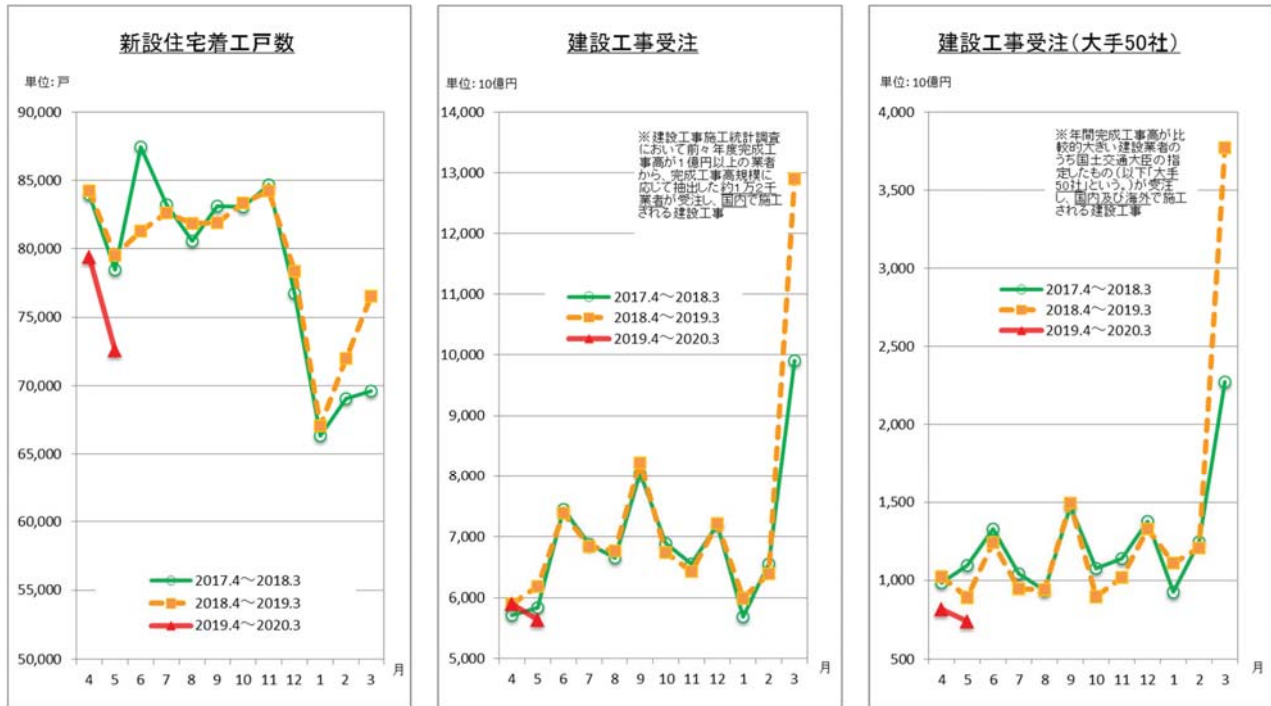
	2018/6 ＜実績＞		2019/6 ＜実績＞		
	売上高比		売上高比	前年同期比	
売上高	7,380	—	8,439	—	+14.4%
営業利益	207	2.8%	470	5.6%	+126.5%
経常利益又は経常損失	-6	—	429	5.1%	—
税金等調整前 四半期純利益又は純損失	-197	—	440	5.2%	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益又は純損失	-272	—	221	2.6%	—

※百万円未満切捨て

業績に影響を与えた要因

- ・タケエイが回復基調にある(各リサイクルセンターの安定稼働、採算性の改善など)
- ・再生可能エネルギー事業が好調を維持(津軽バイオマスエナジー、花巻バイオマスエナジーの好調に加え、本格稼働した大仙バイオマスエナジーも寄与)

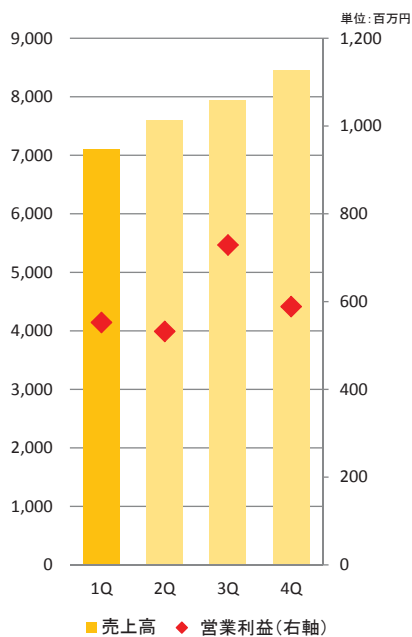
(出所: 国土交通省)



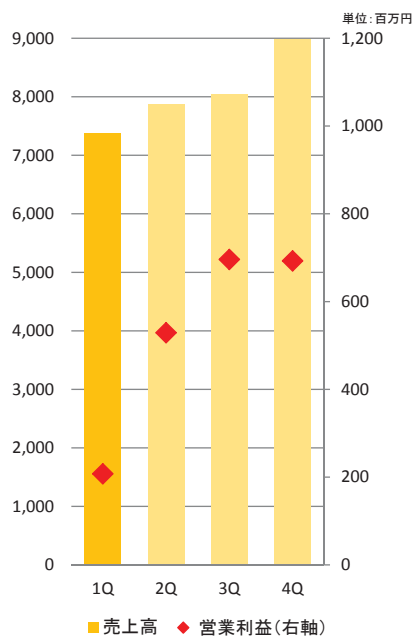
(注): 既に公表されている2019年5月までの戸数・金額にて作成

直近3事業年度における四半期決算比較(連結)

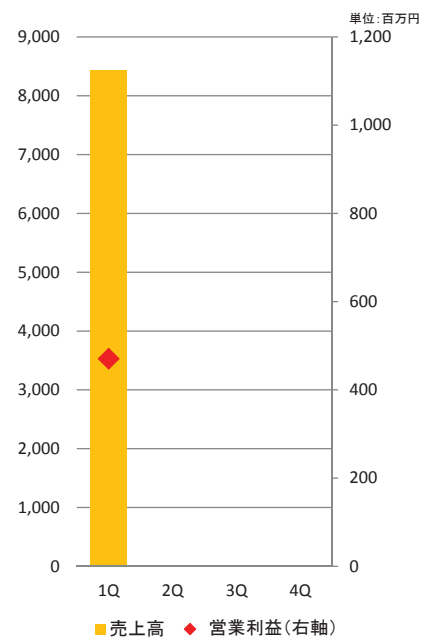
2018年3月期
売上高・営業利益



2019年3月期
売上高・営業利益



2020年3月期
売上高・営業利益



直近3事業年度における四半期決算比較 (連結)



セグメント別売上高/利益 (連結) <累計>

単位: 百万円

	売上高			営業利益			営業利益率	
	2018/6	2019/6	前年同期比	2018/6	2019/6	前年同期比	2018/6	2019/6
連結	7,380	8,439	+14.4%	207	470	+126.5%	2.8%	5.6%
セグメント	セグメント売上高			セグメント利益又は損失			セグメント利益率	
廃棄物処理・リサイクル事業 〔株タケエイ含む〕	5,437	5,863	+7.8%	115	355	+208.7%	2.1%	6.1%
再生可能エネルギー事業	724	1,216	+68.0%	93	140	+50.5%	12.8%	11.5%
環境エンジニアリング事業	954	1,129	+18.3%	-34	-42	—	—	—
環境コンサルティング事業	263	229	-12.9%	24	8	-66.7%	9.1%	3.5%
セグメント間取引消去	—	—	—	8	7	—	—	—
セグメント売上高・利益	7,380	8,439	+14.4%	199	462	+132.3%		

※百万円未満 切捨て

(注) 1: 各セグメントにおける売上高は「外部顧客への売上高」
 (注) 2: 公表日時点で監査未了

グループ各社の売上／営業利益（連結）＜累計＞

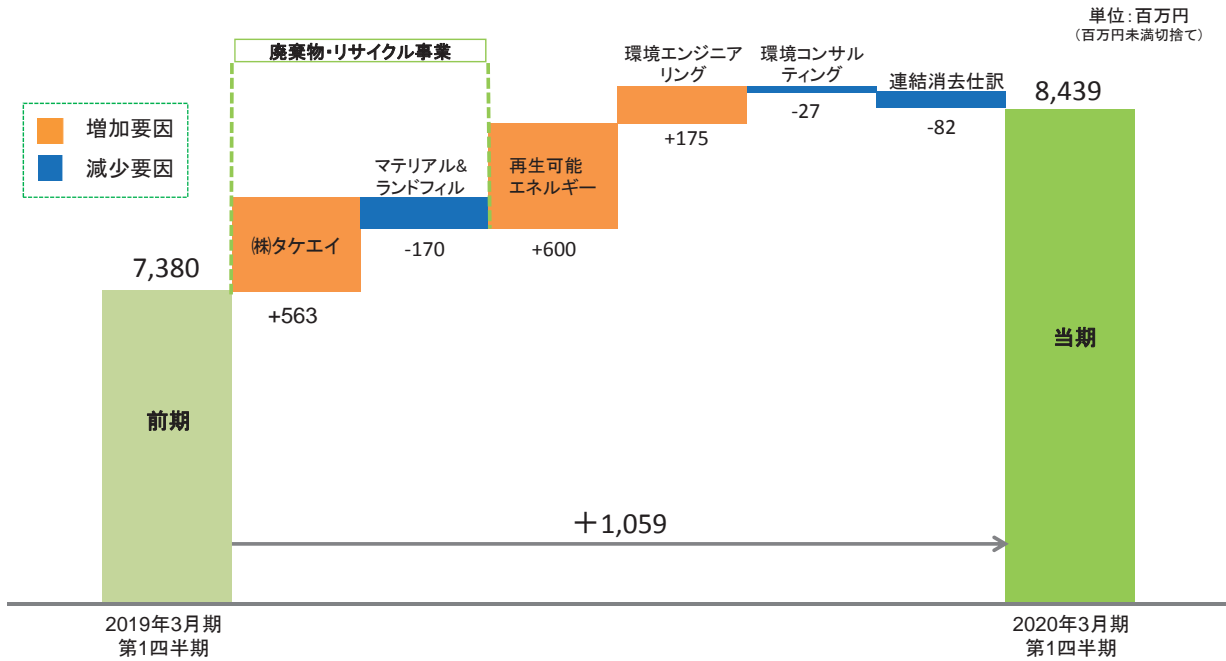
単位：百万円

会社名	売上高			営業利益			営業利益率		主な業務
	2018/6	2019/6	前年同期比	2018/6	2019/6	前年同期比	2018/6	2019/6	
連結	7,380	8,439	+14.4%	207	470	+126.5%	2.8%	5.6%	
＜廃棄物処理・リサイクル事業＞									
(株)タケエイ	3,603	4,166	+15.6%	-125	164	—	—	3.9%	建設廃棄物等の収集運搬・中間処理・再資源化・最終処分
＜マテリアル＞									
(株)池田商店	221	155	-30.2%	73	28	-61.5%	33.0%	18.2%	再生骨材・再生砕石への再資源化
(株)ギプロ	191	203	+6.2%	60	70	+15.5%	31.6%	34.4%	石膏ボードの再資源化
(株)グリーンアローズ関東	92	83	-8.9%	1	-20	—	0.7%	—	石膏ボードの再資源化
(株)グリーンアローズ東北	65	45	-30.9%	-8	-12	—	—	—	石膏ボードの再資源化
(株)タケエイメタル	285	252	-11.8%	12	28	+127.2%	4.4%	11.3%	鉄・非鉄スクラップの再資源化
東北交易(株)	53	52	-0.6%	7	9	+28.0%	12.8%	16.5%	汚泥・燃えがら・ばいじん類・鉱さい等由来の再生砕石製造（再資源化）
イコールゼロ(株)	375	356	-4.9%	21	23	+6.6%	5.6%	6.3%	廃液処理・有害産業廃棄物処理・再資源化
(株)タケエイグリーンリサイクル	142	167	+17.3%	-48	-14	—	—	—	生木等の再生資源化・再生エネルギー原料化
＜ランドフィル＞									
(株)北陸環境サービス	322	223	-30.8%	107	59	-44.6%	33.3%	26.7%	管理型最終処分場の運営、廃プラスチックの再資源化
(株)信州タケエイ	248	285	+14.8%	8	13	+69.0%	3.2%	4.7%	産業廃棄物・一般廃棄物の収集運搬・中間処理・再資源化、解体等
(株)タケエイエナジー&パーク	31	35	+10.2%	9	10	+13.8%	28.0%	28.9%	パークゴルフ場運営、太陽光発電
(株)門前クリーンパーク	—	—	—	-7	-7	—	—	—	＜事業準備会社＞管理型最終処分場
＜再生可能エネルギー事業＞									
(株)T・Vエナジーホールディングス	—	—	—	-0.2	-0.2	—	—	—	再生可能エネルギー事業への投融資・運営
(株)津軽バイオマスエナジー	406	392	-3.4%	60	57	-5.0%	14.9%	14.6%	木質バイオマス発電
(株)花巻バイオマスエナジー	359	353	-1.7%	28	35	+23.8%	7.9%	9.9%	木質バイオマス発電
(株)田村バイオマスエナジー	—	—	—	-9	-11	—	—	—	＜事業準備会社＞木質バイオマス発電
(株)横須賀バイオマスエナジー	—	—	—	-6	-6	—	—	—	＜事業準備会社＞木質バイオマス発電
(株)大仙バイオマスエナジー	—	398	—	-3	27	—	—	6.8%	木質バイオマス発電
花巻バイオチップ(株)	144	152	+5.8%	10	6	-36.4%	6.6%	4.0%	木質バイオマス発電用燃料の製造・供給
(株)津軽あつぷるパワー	26	57	+117.9%	2	6	+203.6%	7.4%	10.3%	小売電気事業
(株)花巻銀河パワー	72	86	+18.3%	11	16	+43.1%	15.7%	18.9%	小売電気事業
(株)大仙こまちパワー	—	170	—	—	18	—	—	10.7%	小売電気事業
(株)横須賀アーバンウッドパワー	—	—	—	—	-0	—	—	—	＜事業準備会社＞小売電気事業
＜環境エンジニアリング事業＞									
富士車輛(株)	960	1,136	+18.3%	-35	-42	—	—	—	環境プラント・車輛等の開発・製造・販売
＜環境コンサルティング事業＞									
環境保全(株)	183	152	-17.0%	9	-4	—	5.0%	—	環境計量証明事業
(株)アースアプレイザル	121	125	+3.0%	15	12	-22.6%	12.6%	9.5%	環境コンサルティング
連結消去	-519	-602		14	5				

※百万円未満 四捨五入(連結数値のみ切捨て)

事業カテゴリー別売上高 増減分析 (連結)

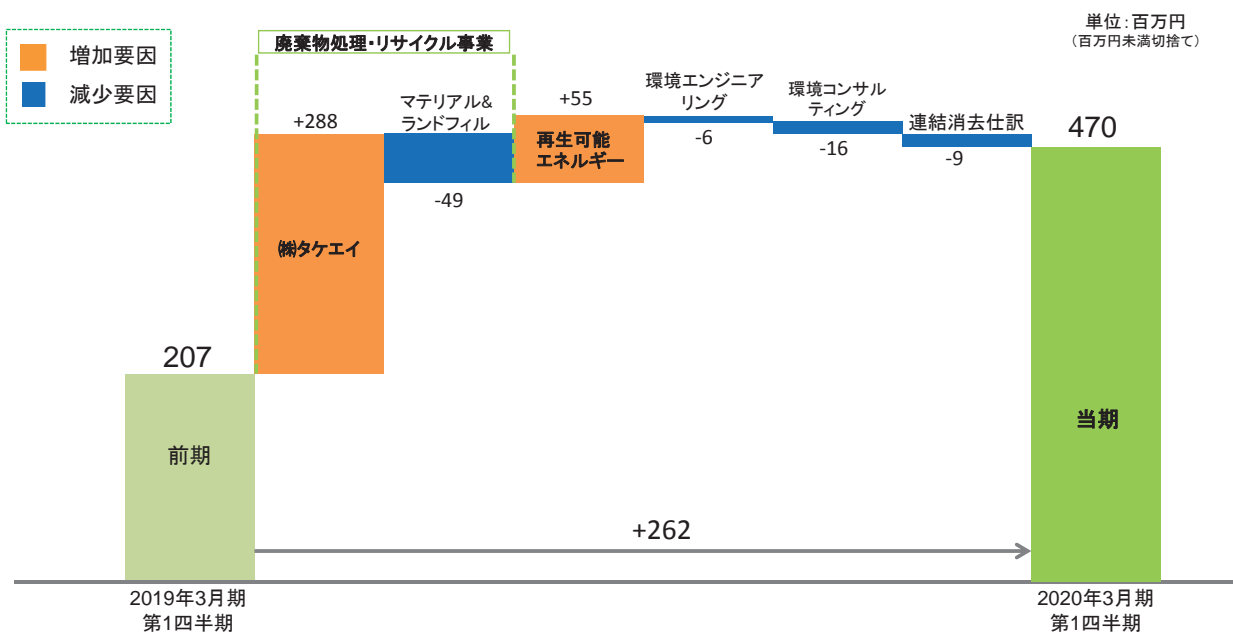
- ㈱タケエイ**:リサイクルセンターが安定稼働を続けたこと、採算性の改善などが奏功した。
- 再生可能エネルギー**:大仙BEが4月より定格運転を行い、安定的に稼働。小売電気事業3社も好調。
- 環境エンジニアリング**:前年度までの受注を順調に納品することが出来た。



(注)1: 数値は、グループ各社の連結消去前売上高の増減を単純合算

事業カテゴリー別営業利益 増減分析 (連結)

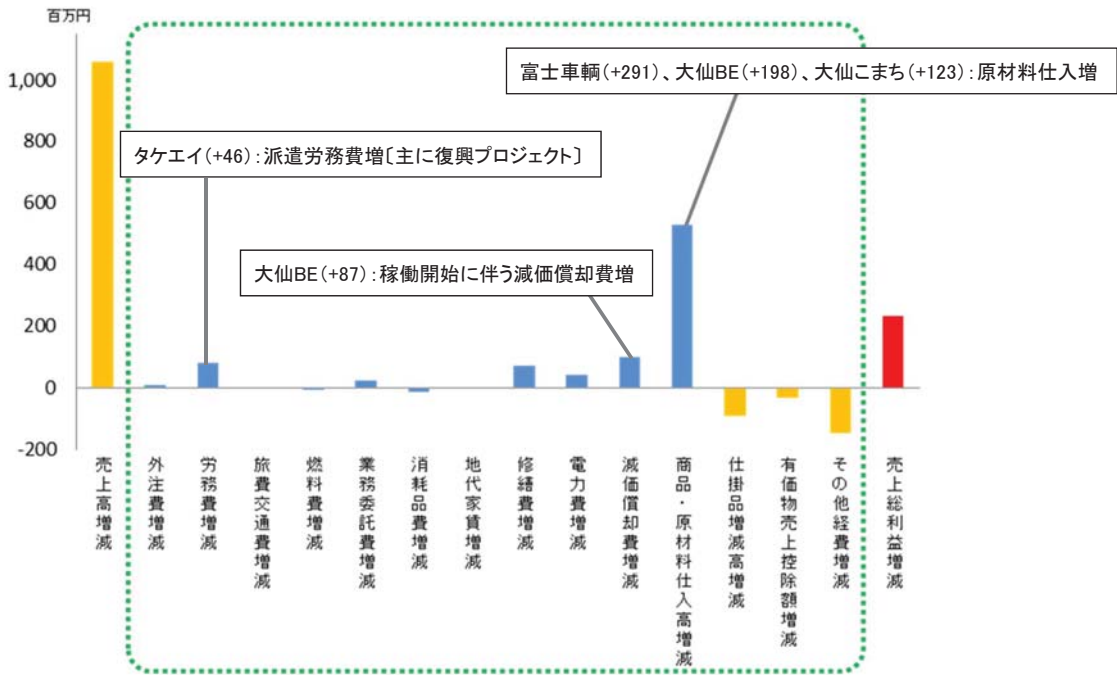
- ㈱タケエイ**:委託処理費等の上昇に対応した原価率低減策の継続及び採算性改善等により、利益確保。
- マテリアル&ランドフィル**:廃石膏ボード関連の2社不調。池田商店にて大型案件減少による減益。
- 再生可能エネルギー**:燃料チップの含水率管理により燃焼効率アップ(津軽バイオマスエナジー)。小売電気事業3社も好調。



(注)1: 数値は、グループ各社の連結消去前営業利益の増減を単純合算

粗利益増減分析（売上高・主要費用項目）（連結）

■ 増加要因
■ 減少要因



損益動向（連結）

単位: 百万円

	(2018/6)		(2019/6)		(増減)	前年同期比 (増減)	
	金額	売上高比	金額	売上高比		金額	増減
売上高	7,380	100.0%	8,440	100.0%	—	+14.4%	+1,060
売上原価	5,890	79.8%	6,716	79.6%	-0.2%	+14.0%	+825
外注費 ^(注5)	2,071	28.1%	2,082	24.7%	-3.4%	+0.5%	+11
労務費	1,498	20.3%	1,578	18.7%	-1.6%	+5.4%	+80
経費	2,689	36.4%	3,519	41.7%	+5.3%	+30.9%	+830
旅費交通費 ^(注5)	134	1.8%	135	1.6%	-0.2%	+1.2%	+2
燃料費	183	2.5%	183	2.2%	-0.3%	-0.1%	-0
業務委託費	135	1.8%	161	1.9%	+0.1%	+19.4%	+26
消耗品費	224	3.0%	210	2.5%	-0.5%	-6.0%	-13
地代家賃	59	0.8%	63	0.8%	-0.1%	+7.2%	+4
リース料	65	0.9%	90	1.1%	+0.2%	+38.0%	+25
修繕費	252	3.4%	326	3.9%	+0.4%	+29.3%	+74
電力費	56	0.8%	98	1.2%	+0.4%	+75.7%	+42
減価償却費	510	6.9%	608	7.2%	+0.3%	+19.2%	+98
商品・原材料仕入高	861	11.7%	1,390	16.5%	+4.8%	+61.4%	+529
仕掛品増減高	-213	-2.9%	-190	-2.2%	+0.6%	—	+23
他勘定振替高	-28	-0.4%	-165	-2.0%	-1.6%	—	-137
有価物売上控除額 ^(▲)	-137	-1.9%	-108	-1.3%	+0.6%	—	+30
売上総利益	1,490	20.2%	1,724	20.4%	+0.2%	+15.7%	+234
販売費及び一般管理費	1,282	17.4%	1,253	14.9%	-2.5%	-2.2%	-29
人件費	800	10.8%	759	9.0%	-1.8%	-5.2%	-41
その他経費	482	6.5%	495	5.9%	-0.7%	+2.6%	+13
のれん償却 ^(注5)	18	0.2%	12	0.1%	-0.1%	-30.9%	-5
営業利益	208	2.8%	470	5.6%	+2.8%	+126.5%	+263
営業外収益	33	0.4%	33	0.4%	-0.1%	+0.4%	+0
持分法による投資利益 ^(注5)	8	0.1%	11	0.1%	+0.0%	+31.9%	+3
営業外費用	246	3.3%	74	0.9%	-2.5%	-70.0%	-172
貸倒引当金繰入 ^(注5)	191	2.6%	—	—	—	—	-191
支払利息	40	0.5%	42	0.5%	-0.0%	+6.2%	+2
経常利益又は経常損失	-6	-0.1%	429	5.1%	+5.2%	—	+435
特別利益	10	0.1%	12	0.1%	+0.0%	+24.6%	+2
特別損失	201	2.7%	1	0.0%	-2.7%	-99.4%	-200
税金等調整前四半期純利益又は純損失	-197	-2.7%	440	5.2%	+7.9%	—	+637
法人税等	42	0.6%	177	2.1%	+1.5%	+322.8%	+135
非支配株主に帰属する四半期純利益	33	0.5%	42	0.5%	+0.0%	+25.2%	+8
親会社株主に帰属する四半期純利益又は純損失	-273	-3.7%	221	2.6%	+6.3%	—	+494

※百万円未満 四捨五入

貸借対照表の動向（資産）（連結）

単位：百万円

	2019/3末		2019/6末		増減額
		構成比		構成比	
(資産の部)					
流動資産	18,591	26.2%	16,969	24.2%	-1,622
現金及び預金	9,387	13.2%	8,350	11.9%	-1,037
受取手形及び売掛金	5,911	8.3%	5,660	8.1%	-251
商品及び製品	21	0.0%	21	0.0%	0
仕掛品	915	1.3%	1,038	1.5%	123
原材料及び貯蔵品	1,120	1.6%	1,109	1.6%	-11
未収入金	845	1.2%	334	0.5%	-511
その他	399	0.6%	463	0.7%	64
貸倒引当金	-10	-0.0%	-8	-0.0%	2
固定資産	51,549	72.6%	52,355	74.6%	806
有形固定資産	48,229	67.9%	49,048	69.8%	819
建物及び構築物	9,756	13.7%	9,919	14.1%	163
機械装置及び運搬具	8,541	12.0%	8,450	12.0%	-91
最終処分場	494	0.7%	451	0.6%	-43
土地	18,311	25.8%	18,311	26.1%	-
建設仮勘定	10,691	15.0%	11,484	16.4%	793
その他	433	0.6%	429	0.6%	-4
無形固定資産	856	1.2%	833	1.2%	-23
のれん	277	0.4%	265	0.4%	-12
その他	579	0.8%	568	0.8%	-11
投資その他の資産	2,463	3.5%	2,473	3.5%	10
投資有価証券	468	0.7%	437	0.6%	-31
退職給付に係る資産	111	0.2%	122	0.2%	11
繰延税金資産	338	0.5%	343	0.5%	5
その他	1,830	2.6%	1,854	2.6%	24
貸倒引当金	-286	-0.4%	-285	-0.4%	1
繰延資産	906	1.3%	902	1.3%	-4
資産合計	71,047	100.0%	70,228	100.0%	-819

※百万円未満切捨て

- ⇒ 現金及び預金 <減少要因>・株タケエイ(-1,128) ※借入金返済
- ⇒ 受取手形及び売掛金 <減少要因>・富士車輛㈱:環境プラント及びサービス(-297)
- ⇒ 仕掛品 <増加要因>・富士車輛㈱ (+127)
- ⇒ 未収入金 <減少要因>・株タケエイ(-113)
- ⇒ 建物 <増加要因>・株タケエイグリーンリサイクル(+245) ※新工場完成
- ⇒ 建設仮勘定 <増加要因>・株北陸環境サービス:次期管理型処分場 (+254)
・株門前クリーンパーク:新規管理型処分場 (+110)
・株横須賀BE:新規木質バイオマス発電事業 (+668)
<減少要因>・株タケエイグリーンリサイクル:新工場完成 (-324)

貸借対照表の動向（負債及び純資産）（連結）

単位：百万円

	2019/3末		2019/6末		増減額
		構成比		構成比	
(負債の部)					
流動負債	12,668	17.8%	11,693	16.7%	-975
買掛金	1,594	2.2%	1,388	2.0%	-206
短期借入金	732	1.0%	712	1.0%	-20
1年内返済予定の長期借入金	5,643	7.9%	5,378	7.7%	-265
未払法人税等	386	0.5%	172	0.2%	-214
修繕引当金	59	0.1%	65	0.1%	6
機械式立体駐車場関連損失引当金	786	1.1%	726	1.0%	-60
その他	3,465	4.9%	3,250	4.6%	-215
固定負債	31,418	44.2%	31,579	45.0%	161
長期借入金	28,835	40.6%	27,842	39.6%	-993
繰延税金負債	377	0.5%	368	0.5%	-9
退職給付に係る負債	348	0.5%	353	0.5%	5
修繕引当金	31	0.0%	45	0.1%	14
役員株式給付引当金	39	0.1%	43	0.1%	4
資産除去債務	465	0.7%	468	0.7%	3
圧縮未決算特別勘定	617	0.9%	1,780	2.5%	1,163
その他	703	1.0%	677	1.0%	-26
負債合計	44,087	62.1%	43,272	61.6%	-815
(純資産の部)					
株主資本	25,992	36.6%	25,980	37.0%	-12
資本金	6,640	9.3%	6,640	9.5%	-
資本剰余金	7,180	10.1%	7,180	10.2%	-
利益剰余金	13,486	19.0%	13,474	19.2%	-12
自己株式	-1,314	-1.8%	-1,314	-1.9%	0
その他の包括利益累計額	76	0.1%	67	0.1%	-9
その他有価証券評価差額金	68	0.1%	59	0.1%	-9
退職給付に係る調整累計額	7	0.0%	7	0.0%	0
非支配株主持分	891	1.3%	907	1.3%	16
純資産合計	26,960	37.9%	26,955	38.4%	-5
負債及び純資産合計	71,047	100.0%	70,228	100.0%	-819

※百万円未満切捨て

- ⇒ 買掛金 <減少要因>・富士車輛㈱(-71)
- ⇒ 未払法人税等 <減少要因>・株タケエイ(-55)、株池田商店(-56)、株北陸環境サービス(-30)
- ⇒ 機械式立体駐車場関連損失引当金 <減少要因>・富士車輛㈱(-60)
- ⇒ その他:未払金 <減少要因>・株タケエイ(-206)、株タケエイグリーンリサイクル(-114) (2社とも、主に設備未払の減少による)
- ⇒ 圧縮未決算特別勘定…株田村BE(+1,163 ※補助金入金)
- ⇒ 利益剰余金 <増加要因>・親会社株主に帰属する当期純利益(+221)
<減少要因>・配当(-233)



<設備投資・減価償却費>

<従業員数・車両台数>

単位:百万円

	2018年4-6月 (1Q)	2019年4-6月 (1Q)	2019/3 (通期)	2020/3 予想 (通期)
設備投資				
連結	1,902	1,516	8,817	10,066
(うち ㈱タケエイ)	198	200	1,112	1,700
減価償却費				
連結	555	556	2,397	3,362
(うち ㈱タケエイ)	232	205	1,034	1,384
のれん償却	18	62	65	49

	2018/9末	2018/12末	2019/3末	2019/6末
期末従業員数 (人)				
連結	1,266	1,285	1,277	1,300
(うち ㈱タケエイ)	607	611	608	625
収集運搬車両 (台) 単体	280	279	278	286

※百万円未満 四捨五入

主な設備投資 2020年3月期 第1四半期 実績

㈱タケエイ	設備・車両更新、 大木戸処分場拡大など	2億円
㈱北陸環境サービス	次期処分場造成工事	2.6億円
㈱門前クリーンパーク	処分場造成工事	1億円
㈱横須賀バイオマスエナジー	発電施設整備	6.6億円

主な設備投資 2020年3月期 計画

㈱タケエイ	設備・車両更新、 大木戸処分場拡大など	17億円
㈱北陸環境サービス	新処分場造成工事	9億円
㈱門前クリーンパーク	処分場造成工事	22億円
㈱タケエイグリーンリサイクル	新工場建設、設備更新	2億円
㈱田村バイオマスエナジー	発電施設整備	12億円
㈱横須賀バイオマスエナジー	発電施設整備	22億円

今期の決算見通し (連結)

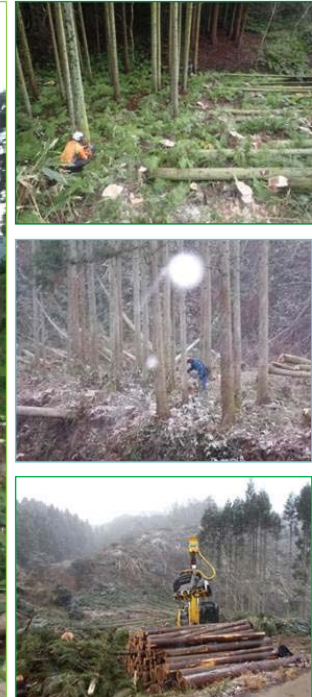


単位:百万円

	2019/3 <実績>		2020/3 <予想>			上期 <予想>		下期 <予想>	
	売上高	売上高比	売上高	売上高比	前期比	前年同期比	前年同期比	前年同期比	
売上高	32,271	—	35,000	—	+8.5%	16,100	+5.6%	18,900	+11.0%
営業利益	2,125	6.6%	2,600	7.4%	+22.3%	900	+22.2%	1,700	+22.4%
経常利益	1,814	5.6%	2,350	6.7%	+29.5%	800	+63.5%	1,550	+17.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	275	0.9%	1,300	3.7%	+371.6%	340	—	960	+21.0%

※百万円未満切捨て

前回発表時(2019年5月15日)の連結業績予想から修正はありません。



(株)門前クリーンパーク 管理型最終処分場建設予定地にて(2019年7月撮影)
画面後方の山肌や手前の切株などから、処分場造成工事に備えて樹木の伐採が進捗していることが分かる。

伐採作業の様子

しらよね
白米千枚田にて田植え行事に参加

(株)門前クリーンパーク (輪島市)
(株)北陸環境サービス (金沢市)



(株)門前クリーンパーク
代表取締役社長の三本も参加
(当社代表取締役会長)



能登半島では、白米千枚田(輪島市)に代表される棚田、珠洲市に残る製塩法、海女によるアワビやサザエ漁などが大切に守られて存続しています。2011年6月、これらが国際連合食糧農業機関によって「将来に受け継がれるべき農林水産業及び文化」と認められ、4市5町が『能登の里山里海』として『世界農業遺産』に選定されました。

石川県輪島市にて管理型最終処分場の建設を進めている(株)門前クリーンパークは、10年ほど前から『白米(しらよね)千枚田』のオーナーの1社となっています。

その名の通り1,004枚の小さな田から構成される白米千枚田では、5月に田植え、9月には稲刈りの行事が企画され、全国から多くの参加者が集まります。

今年の田植えには金沢市に管理型最終処分場・中間処理工場を構える(株)北陸環境サービスの社員も参加し、美しい日本海を眺めながら気持ち良い汗を流しました。

タケエイグループ各社では、地元溶け込んだ事業運営を目指し、各地域での様々な活動に積極的に参加しています。





㈱大仙バイオマスエナジー 協和発電所（2019年5月撮影）



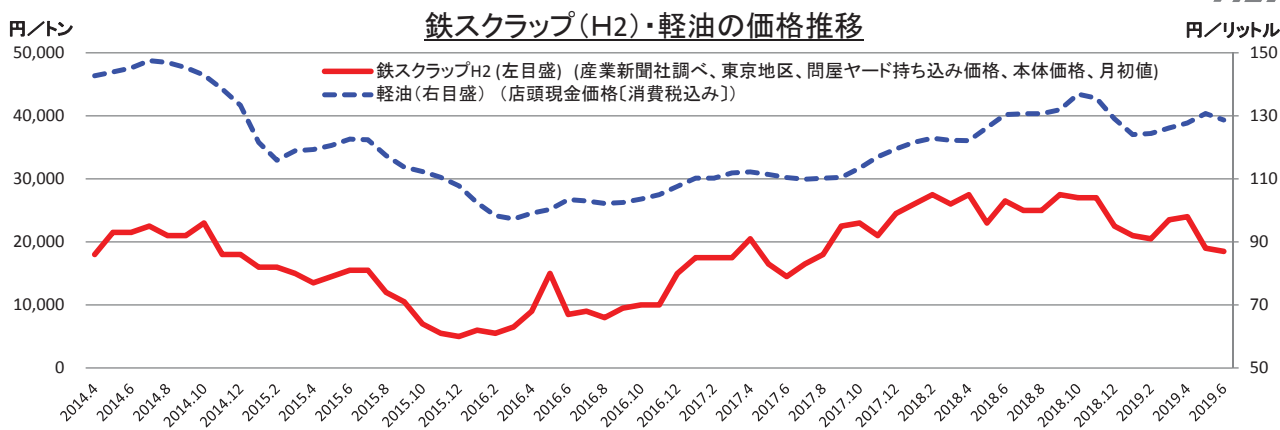
大仙バイオマスエナジーの炉内

2019年1月11日に竣工式を行い、2月1日より営業運転を開始しました。
 燃料チップの供給や設備運転の手法を工夫した結果、効率的に発電を行うことができています。
 6月に行なった最初の定期修繕では、炉内は「クリンカ」と呼ばれる細かな灰がほとんど見られず、清掃が不要なほどきれいな状態を保っていることが分かりました。
 清掃せずに済んだため修繕に必要な日数を短縮できたことも、収益アップに寄与しました。

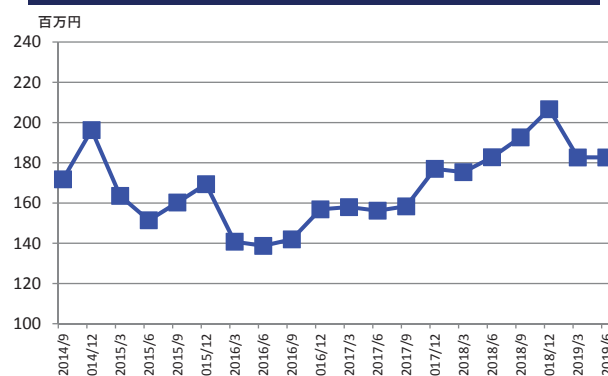


大仙バイオマスエナジーが発電用燃料としている材の一例…山中に放置された枝葉や「タンコロ」（根に近い部分の切れ端）

鉄スクラップ及び軽油価格と当社グループに与える影響



㈱タケエイ(連結)の燃料費推移



㈱タケエイメタルの売上高推移

